



大杉東小だより

令和8年2月27日 NO. 13

江戸川区立大杉東小学校 校長 高橋 真

「体験」から得るもの

日本時間2月7日からイタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォで開催されていた冬季オリンピックが閉幕しました。約90の参加国・地域のトップアスリートが集い、8競技、116種目で競われた冬の祭典では、日本チームは過去最多の24個のメダルを獲得、連日の日本選手の活躍に胸が躍りました。一方で、練習中のけがや当日のコンディションにより、期待された結果が出せなかった選手も大勢いました。その無念さは計り知れませんが、また次の目標に向かって前進されることを願ってやみません。

冬のスポーツは、なかなか都内では味わえませんが、江戸川区の小学生は、4年生でスケートを、5年生でスキー（一部学校を除く）を体験します。スポーツは、「見る」楽しさもありますが、やはり「する（体験する）」ことを通じて感じた楽しさは、何よりも勝るのではないのでしょうか。

本校でも19日（木）から新潟県魚沼市にウインタースクールに行き、2日目にスキーを体験してきました。当日は、雲一つない晴天に恵まれ、雄大な大自然の美しさも味わいながらのスキーとなりました。初めてスキー靴を履く児童も大勢いて、最初は緊張感あふれる様子でしたが、午後には全員が自分でスピードをコントロールできるようになり、斜面を笑顔で滑る様子が印象的でした。

スポーツだけではありません。世の中のあらゆることを自分自身が実際に体験することで、そのことの楽しさや難しさが実感できます。そしてその実感が、次なる意欲やその道を極めている人への尊敬にもつながります。IT時代の現在では様々な方法で疑似体験ができますが、本来の楽しさを味わうために今後も子供たちには、様々な体験活動を大切にさせていきたいものです。

大成功の音楽会

13日（金）と14日（土）の2日間、音楽会を開催いたしました。音楽会としては平成30年度以来、実に7年ぶりの開催でしたが、どの学年もこれまでの練習の成果を存分に発揮し、体育館がすてきな空間となりました。

1年生は、国語で学習した「くじらぐも」を題材に、ファンタジーな世界を歌と合奏で表現しました。緊張から台詞の順番を間違えてしまう場面もありましたが、自分たちで修正して最後まで発表でき、その成長ぶりに感動しました。2年生も、国語で学習した「スイミー」の世界を見事に表現しました。海の中の様々な生き物の美しさやスイミーの活躍を、歌と合奏で元気いっぱい伝えました。ソロパートの4人は大人顔負けの歌唱力でした。

カウボーイハットをかぶって登場した3年生。「元気 勇気 ちから」をタイトルどおり元気いっぱいに歌った後は、やわらかい歌声で「語り合おう」。リコーダー奏「きよしこの夜」も1音1音丁寧に吹きました。合奏「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」まで表情の違う4曲を見事に披露しました。4年生は「夢の世界を」を3つの旋律を重ねて演奏した後、明るさいっぱいの合奏「ジャンボリーミッキー」をダンスも交えて楽しませてくれました。最後は「スマイルアゲイン」を励ましや笑顔を届けようと心を込めて歌い、会場全体をやさしい雰囲気にしてくれました。

総合的な学習の時間で米作りから環境について学んできた5年生は、自然の大切さや協力していく仲間の大切さを思いながら「地球のかぞく」を歌いました。「茶色の小びん」と「カントリーロード」の合奏は、5年生らしくノリノリで会場を盛り上げました。卒業までわずかとなった6年生は、友達との絆をテーマに、「Best Friend」と「オワりはじまり」を見事に歌い上げました。「青と夏」の合奏は、最上級生としての姿を後輩たちに伝えてくれました。金管バンド部もアンコールも含めて合計4曲を演奏し、音楽会を見事に締めくくってくれました。感動をありがとう！！